

国語科学習指導案

I 単元 グラフや表を用いた書き方の秘密を見付けよう

(『天気を予想する』『グラフや表を用いて書こう』)

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

グラフや表を用いた文章に興味をもち、友達と考えを伝え合いながら文章を読んだり書いたりしようとする態度

①知識・技能

「問い－答え」を繰り返して主張に至る文章構成への理解

②思考力・判断力・表現力等

グラフや表と文章との結び付きを考えながら、文章を読んだり書いたりする力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項－カ 文の中での語句の係り方や語順，文と文との接続の関係，話や文章の構成や展開，話や文章の種類とその特徴について理解すること。

〔思考力，判断力，表現力等〕

B 書くこと－エ 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

C 読むこと－ウ 目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりすること。

(3) 教材及び言語活動の価値

本単元では，説明文を読んで捉えたグラフや表と文章との結び付きを生かし，グラフや表を用いた意見文を書く学習を行う。その価値は以下のとおりである。

グラフや表を用いて意見文を書く活動を設定することで，子どもたちが自らの考えを読み手に分かりやすく伝えるために，文章構成についての理解を深めるとともに，その理解を実際に文章を書くことへと生かすことができる。また，主張に説得力をもたせるために，その根拠となる事例として，グラフや表の情報と文章とを明確に結び付けて書くことができる。その際，教材となる説明文からグラフや表と文章との結び付き方を調べる必要感が生まれる。そして，これらの学習を通して，グラフや表を用いた文章にこれまで以上に興味をもち，友達と考えを伝え合いながら文章を読んだり書いたりしようとする態度を育むことができる。

また、本単元では「読むこと」の教材として、『天気を予想する』（光村5年）を取り上げる。その価値は以下のとおりである。

本教材は、問いが示された段落に続き、その答えや要因等が示される構造が3回繰り返され、最後の段落に筆者の主張が提示される文章構成となっている。そして、その論の進め方は、「確かに的中率は上がっている。しかし、100パーセントにすることは不可能だ。だから、自分で天気を感じることが必要だ。」という、譲歩構文となっている。そのため、子どもたちは「問い—答え」の繰り返しに着目しつつ、筆者の主張をより際立たせる論の進め方を理解することができる。

また、教材文全体にグラフと表が1枚ずつ、図が2枚、写真が8枚用いられており、それぞれ筆者の説明と結び付けられている。その中でも第1段落の表は、天気予報の的中率が上がってきているという、教材文の論の展開の始まりと深く結び付いている。そして第5段落のグラフは、科学技術や国際的な協力が進展しても、天気予報の的中率が100パーセントにはならないことの裏付けとなっている。これは、自分で天気を感じることが大切だという筆者の主張へと論を進める上で重要なものである。筆者がグラフや表を論の展開に効果的に用いており、子どもたちはこれらのグラフや表と文章との結び付きについて考えながら読むことができる。

さらに、本教材は天気の話題を扱っており、5年理科の学習で学んだことを関わらせて、グラフや表と文章の結び付きについて興味をもち、友達と考えを伝え合いながら進んで読む態度を養うことにつながる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、5年「事例と意見の関係を押さえて、自分の考えをまとめよう」（『想像力のスイッチを入れよう』）における、事例と意見との結び付きに気を付けながら読み、メディアについての自分の考えを文章にまとめる学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、5年「筆者の考えの進め方を捉えよう」（『見立てる』『生き物は円柱形』）において、目的に応じて要旨を捉えたり、筆者の考え方や文章の書き方について、自分の考えを明確にしたりしながら読む学習に取り組んできた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 文章中の語句のつながりに着目して、「はじめ—中—終わり」の文章構成を理解することができるようになってきている。このような子どもたちが、「問い—答え」のつながりに着目し、その繰り返しが筆者の主張に結び付く文章構成を理解することができるよう、段落ごとの本文カードを操作しながら文章構成を話し合う活動を設定する。
- ② 構成や文末表現に着目して、文章の要旨を捉え、それについての自分の考えを広げたり深めたりできるようになってきている。このような子どもたちが、グラフや表の情報と文章との結び付きに着目して読み、筆者が考えを伝えるためにグラフや表を効果的に用いていることを捉えることができるよう、教科書のグラフや表の情報量を減らした、リライトグラフやリライト表を基に、グラフや表の情報と文章との結び付きを話し合う活動を設定する。

- ③ 身近な事例を用いた文章に興味をもち、自分なりの考えをもって読もうとする態度を養ってきている。このような子どもたちが、グラフや表を用いた文章に興味をもち、友達と考えを伝え合いながら文章を読んだり書いたりしようとする態度を養うことができるよう、視点を示した振り返りシートを用意し、振り返ったことを友達と共有し、学んだことを自覚したり、新たなめあてを立てたりする活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 第5段落の元のグラフとリライトグラフとを比較して、筆者の考えとの結び付き方を話し合うこと通して、引用されていないグラフの情報も筆者の意見を裏付けるものとなっていることに気付くことができる。
- 2 準備 前時の板書内容の掲示物、振り返りシート、リライトグラフ（2001年以後の平均回数と棒グラフのみのもの）、第5段落の本文とグラフを転載した学習プリント
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1段落は、表の始めと終わりの数値を引用したり、途中の数値を短い言葉にまとめたりして、「的中率が高くなった」という筆者の考えに結び付けていたね。 ・表の情報と筆者の考えとの結び付きは考えられたから、今日は第5段落のグラフが、「正確に予想するのはとてもむずかしい」という筆者の考えと結び付いているか話し合おう。 <p>2 グラフの情報と筆者の考えとの結び付きを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフの見出しと2001～2010年の平均回数が文章に引用されているね。でもそれ以外は直接文章と結び付いてはいないみたいだな。 ・確かに2001～2010年の平均回数だけでも筆者の考えとはつながっているけど、引用されていない他の情報がないのも変な感じがするな。どう結び付いているのかな。 ・1981～2000年の棒グラフと2001～2010年の棒グラフを比べると、青い部分が多くなっていることが分かるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習内容を想起できるよう、前時の板書内容の掲示物を提示する。 ○前時の学習の成果を実感できるよう、振り返りシートを基に、前時に学んだことをペアで伝え合うよう促す。 ○第5段落のグラフの情報と筆者の考えとの結び付き方を話し合うという本時の見通しをもてるよう、本時に取り組みたいことに触れた振り返りシートの叙述を発表するよう促す。 ○グラフの情報の一部しか文章に引用されていないことに気付けるよう、グラフの情報と文章の両方に共通する情報を線で囲ったりつないだりするよう促す。 ○元のグラフの情報と「正確に予想するのはとてもむずかしい」という筆者の考えとの結び付き方に気付くことができるよう、見出しと2001年以後の平均回数と棒グラフのみのリライトグラフを提示し、元のグラフが提示されている場合との違いを問いかける。 ○文章に引用されていない情報と、筆者の考えとの結び付き方に気付けるよう、リライトグ

- 2001～2010年の棒グラフからは、年によっては360回も非常に激しい雨が降ることが分かるから、正確に予想できないことの根拠になっているね。
- 1981～1990年から1991～2000年の平均は9回の増加だけど、2001～2010年の平均は25回も増えているね。
- 以前の平均回数もあると、昔よりも予想がもっと難しくなっていると言えそうだよ。
- 第1段落は、表の情報がすべて文章の言葉とはっきりつながっていたけど、第5段落は文章の言葉にはっきりつながってなくても、ちゃんと「正確に予想するのはむずかしい」という筆者の考えの根拠となっていることが分かったよ。

3 本時の学習を振り返る。

- 棒グラフや数字をよく読んで考えたら、グラフの情報全体が筆者の考えとつながっていることが分かった。

ラフや元のグラフと筆者の考えとの結び付き方をペアで話し合うよう促す。

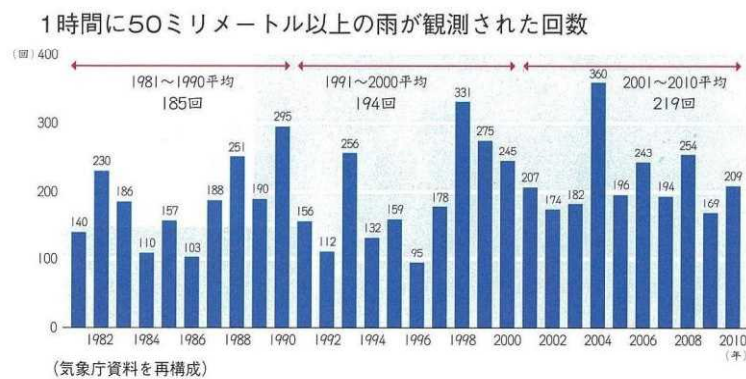
- 話し合っただけ気付いたことを明確にできるよう、気付いたことを学習プリントに記入するよう促す。
- 第5段落におけるグラフの情報と文章との結び付き方に対する考えを明確にもてるよう、前時の表と文章と結び付き方と比較するよう促す。

評価項目

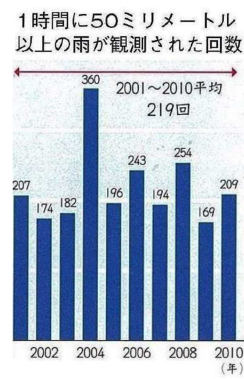
グラフの情報全体が、筆者の意見の裏付けとなっていることを発言したり記述したりしている。

< 発言・学習プリント (2) >

- 本時の学習の達成感を得たり、次時の学習で取り組みたいことに気付いたりできるよう、3つの視点を意識して振り返りシートに学習の感想を記入するよう促す。



元のグラフ



リライトグラフ

指導と評価の計画（全13時間予定）

目標	グラフや表を用いた説明の仕方を捉え、それを用いて自分の考えを意見文にまとめることができる。			【指導事項：Bエ・Cウ】
評価規準	(1) 「問いー答え」を3回繰り返して主張に至る文章構成を理解している。 (2) グラフや表の情報と文章との結び付きを捉え、自分なりの結び付きを考えて文章を書いている。 (3) グラフや表の情報と文章との結び付きに興味をもち、友達と考えを伝え合いながら文章を読んだり書いたりしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法（観点）>
つかむ	1	○グラフや表を用いた意見文モデルを読んだり、グラフや表の情報と文章との結び付きを話し合ったりし、「表やグラフと文章とつながり方のひみつを見付け、意見文を書こう」という学習課題をつかむ。	○グラフや表の情報と文章が結び付いていることに気付けるよう、段落ごとの本文カードと図表カードとを組み合わせる活動を設定する。	◇グラフや表、文章の言葉や情報を根拠に、本文カードと図表カードとを組み合わせている。 <発言・振り返り（3）>
ふかめる1	1	○本文カードを用いて文章構成を話し合う。	○「問いー答え」に着目して文章構成を捉えられるよう、キーワードを色分けして記入しながら本文カードを操作する活動を設定する。	◇見付けたキーワードを基に、本文カードを3つの「問いー答え」と「まとめ」の4つのまとまりに分けている。 <教材文カード（1）>
	1	○第1段落の表の情報と文章との結び付きを話し合う。	○表の情報と文章とを対応させて考えられるよう、表の情報と文章の共通している部分を線で囲ったりつないだりする活動を設定する。	◇表の情報と筆者の意見とが結び付いていることを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント（2）>
	1	○第5段落のグラフの情報と文章との結び付きを話し合う。 （本時）	○文章に引用されていないグラフの情報も筆者の意見と結び付いていることに気付けるよう、元のグラフと情報を減らしたりライトグラフとを比較して、グラフの情報と文章との結び付きを話し合う活動を設定する。	◇グラフの情報が、筆者の意見の裏付けとなっていることを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント（2）>
	1	○数値の用い方に差があることの原因を話し合う。	○数値の用い方が話題と関連していることに気付けるよう、数値が多用されているところとそうでないところでの話題の違いを話し合う活動を設定する。	◇話題によって数値の用い方を変えていることを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント（2）>
ふかめる2	1	○用いたいグラフや表を選ぶ。	○用いたいグラフや表を選べるよう、それぞれのグラフや表から読み取れることを話し合う活動を設定する。	◇読み取った情報を基にして、グラフや表を選んでいる。 <学習プリント（2）>
	1	○自分の意見をまとめる。	○グラフや表と自分の意見との結び付きを確かめられるよう、グラフや表の情報と自分の意見とのつながりを友達と話し合う活動を設定する。	◇グラフや表を基に、自分の意見をまとめている。 <学習プリント（2）>
	2	○グラフや表を用いて、意見文を下書きする。	○構成に気を付けて下書きできるよう、構成を色で明示した意見文モデルを提示する。	◇グラフや表の情報を引用して書く段落に続けて、自分の意見を述べる段落と言う構成で、意見文の下書きしている。 <下書き（1）>
	1	○下書きを読み合い、アドバイスを伝え合う。	○グラフや表の情報と意見との結び付きに着目してアドバイスできるよう、グラフや表の情報と文章の共通している部分を線で囲ったりつないだりする活動を設定する。	◇線で囲ったりつないだりした情報や文章を基に、グラフや表の情報と文章との結び付きのよい点や修正点をアドバイスしている。 <発言・ノート（2）>
	1	○アドバイスを基に、意見文を清書する。	○グラフや表と文章との結び付きを意識して清書できるよう、文章と対応する位置に貼り付けるためのグラフや表を1人1枚ずつ用意する。	◇グラフや表の情報を基に、意見文を清書している。 <清書（2）>
ふりかえる	1	○意見文を読み合い、感想を交流する。	○学習の成果を実感できるよう、選んだグラフや表が同じ友達と異なる友達のそれぞれと意見文を交換し、グラフや表の情報と意見との結び付きのよい点を伝え合う活動を設定する。	◇友達の意見文の、グラフや表の情報と意見との結び付きのよい点を伝えている。 <発言・ノート（3）>
	1	○まとめのテストを行う。		